

1月24日開催 土曜チャレンジスクール 樹木診断活動報告

文蔵小学校チャレンジスクール 実行委員長 田中 兼弘

さいたま市造園業協会から24名の方のご協力のもと、文蔵小開校時に植えられた、校庭にある文蔵小のシンボルツリー、大ケヤキの樹木診断を行いました。当日は連休中日で欠席の児童も多かったのですが、参加者は児童33名、チャレンジスクールのスタッフ9名、保護者ボランティア7名、総勢の49名でした。

さいたま市長、さいたま市教育委員会教育長にご挨拶をいただいたあと、校庭に出て、2班に分かれ交互に樹木診断とグリーンアドベンチャー（木の名前当てクイズ）を開始。ケヤキの周囲8か所に機器を取り付け、造園業協会の方のご指導のもと、児童が幹に杭を打ち、音波断層診断を体験しました。

音波の速度で木の内側の腐敗度がわかります。終わったあと、幹の内部の画像を見ながら、樹木医の方のお話を聞きました。一部腐敗が見られたものの、文蔵小のシンボルツリー大ケヤキは「問題なく健康」だと診断されました。

これからも大ケヤキが元気に枝を伸ばし、子どもたちの成長を見守ってくれるよう、来年度のチャレンジスクールのプログラムに大ケヤキの手入れ（土の入れ替え等）行っていきたいと思っています。



清水市長あいさつ



後藤樹木医音波診断中



ピカス音波計測器実技



シンボルツリー、ケヤキの下で集合写真

